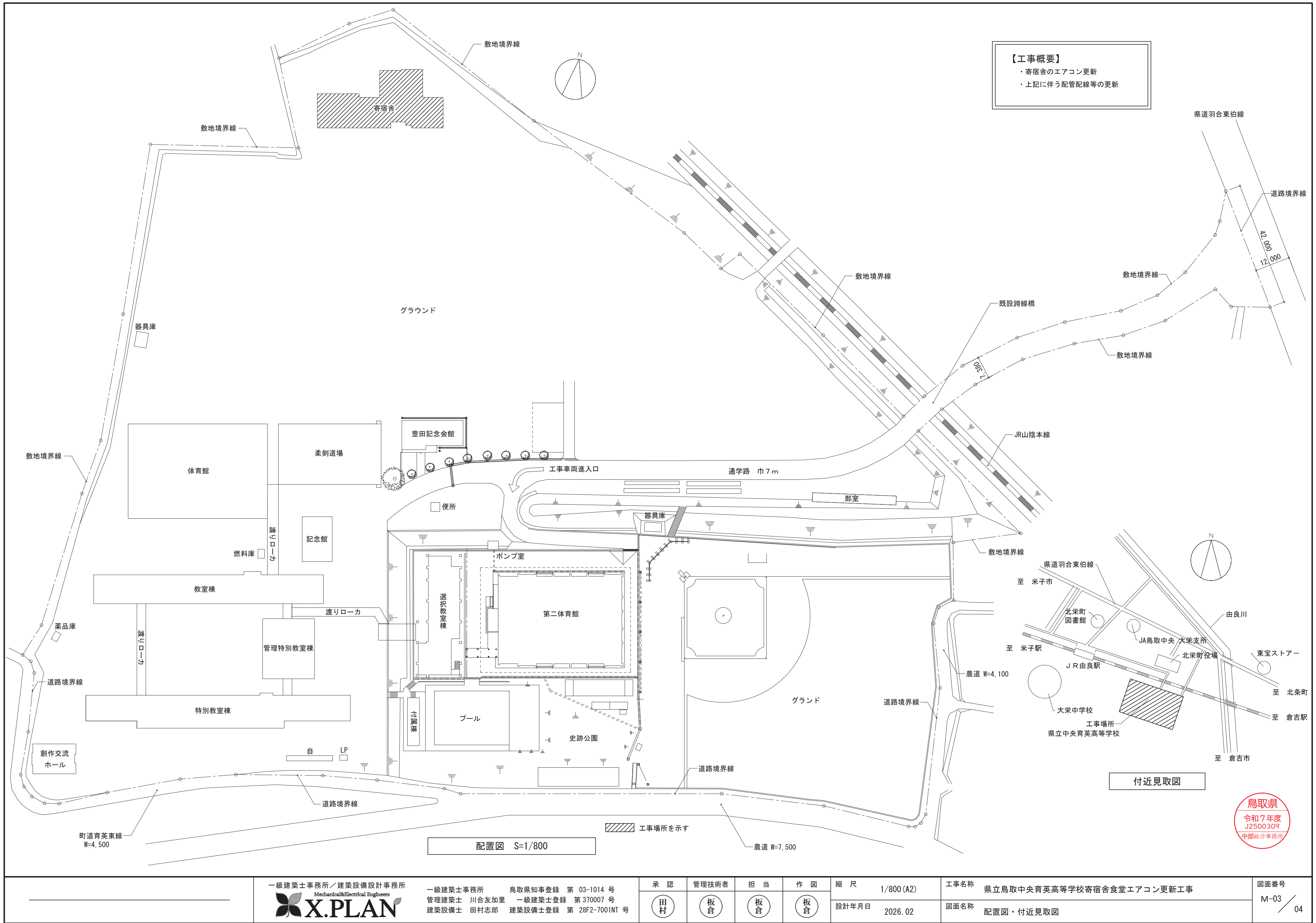


県立鳥取中央育英高等学校 寄宿舎食堂エアコン更新工事

図 面 リ ス ト		
図 番	図 面 名 称	縮 尺
M- 00	表紙・図面リスト	NS
M - 01	機械設備工事特記仕様書（１）	NS
M - 02	機械設備工事特記仕様書（２）	NS
M - 03	配置図・付近見取図	1/800
M - 04	冷暖房設備 機器表（改修前・改修後）・1階平面詳細図	1/50
E - 01	空調機電源設備 平面図（改修後）	1/50



一般共通事項	21 鋼管類の防食処置	地中埋設	●ベトロラム系	●ブチルゴム系	●熱収縮チューブ及びシート	1 空気調和設備	1 設計用温湿度条件	<table><tr><th rowspan="4"></th><th colspan="4">外気条件</th><th colspan="4">室内 (調整目標値)</th></tr><tr><th colspan="2"></th><th colspan="2">一般</th><th colspan="2">()</th><th colspan="2">()</th></tr><tr><th>温度</th><th>湿度</th><th>温度</th><th>湿度</th><th>温度</th><th>湿度</th><th>温度</th><th>湿度</th></tr><tr><th>(DB)</th><th>(RH)</th><th>(DB)</th><th>(RH)</th><th>(DB)</th><th>(RH)</th><th>(DB)</th><th>(RH)</th></tr><tr><td>夏 季</td><td>36.0</td><td>℃</td><td>50.2</td><td>%</td><td>28.0</td><td>℃</td><td>成り行き</td><td>%</td><td></td><td>℃</td><td></td><td>%</td></tr><tr><td>冬 季</td><td>-0.4</td><td>℃</td><td>78.5</td><td>%</td><td>19.0</td><td>℃</td><td>成り行き</td><td>%</td><td></td><td>℃</td><td></td><td>%</td></tr></table>		外気条件				室内 (調整目標値)						一般		()		()		温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	温度	湿度	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏 季	36.0	℃	50.2	%	28.0	℃	成り行き	%		℃		%	冬 季	-0.4	℃	78.5	%	19.0	℃	成り行き	%		℃		%	※ SGP (白) ● SGP-V A ● SGP-P A ※ SGP (白) ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 (SUS304) ● 架橋ポリエチレン管 (ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブテン管 (ファンコイル機器接続部に限る) ※ SGP (白) ● ステンレス鋼管 (SUS304) ※ SGP (黒) ※ STPG370-Sch40 (黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304) 一般配管 ※ SGP (黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ※ 断熱材被覆鋼管 ● ステンレス鋼管 ● SGP-V A ● ※ SGP (白) ⊙ VP ※ 5K ● 10K ※ 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイワフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形) を取付ける。 (ア) 防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。) (イ) ビストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ● ※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 長方形ダクト ● コーナールボルト工法 (● 共振工法 ● スライドオンフランジ工法) (長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。) ● アングルフランジ工法 ● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製 シーリングディフューザーの接続は、標準図(施工49)を参考とする。 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 線状吹出口には、(長さ+100)×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口(原則400×600)を取付ける。 形式はビート管式(コック付)とする。 ● 着脱式 ● 固定式 下記の箇所、若しくは図示により取付ける。 ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷水水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ユニット形空調機と機の冷水水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● メカニカル形 ● 風速センサー形 機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付し形温度計 空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。 ※ 手動 ● 自動 自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工38(g)) 機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。 トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製 材質及び厚さ ● SS400 (※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS (※ 1.5mm ● 2.0mm) 煤煙温度計 ● 取付けない ● 取付座を付ける 煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない 24 オイルサービスタンク 25 地下オイルタンク 据付け方法 ● 標準図(施工32)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工33)(タンク室有り) タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト 基礎杭 ※ 不要 ● 要 (※ 別途工事 ● 本工事) 土留め工事 ● 要 ● 不要 タンクローリー用アース端子を設ける。 油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ● ● 機器表記による。 ● 空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。	2 冷却水管 3 冷水・温水・冷温水管 4 膨張・空気抜・補給水管 5 蒸気給水管 6 蒸気還水管 7 油・油用通気管 8 冷媒管 9 空調用給水管 10 空調用排水管 11 弁類 12 ファンコイルユニット 13 ダンパー 14 ダクト 15 吹出口・吸込口 16 チャンパー等 17 消音内貼り 18 瞬間流量計及び流量測定口 19 定風量・変風量ユニット 20 温度計 21 冷温水管の空気抜き 22 空調機用トラップ 23 鋼板製煙道 24 オイルサービスタンク 25 地下オイルタンク 26 油面制御装置 27 フィルター等付属品 28 パッケージ空調機的能力表示 29 防振吊り及び支持金物	4 膨張・空気抜・補給水管 5 蒸気給水管 6 蒸気還水管 7 油・油用通気管 8 冷媒管 9 空調用給水管 10 空調用排水管 11 弁類 12 ファンコイルユニット 13 ダンパー 14 ダクト 15 吹出口・吸込口 16 チャンパー等 17 消音内貼り 18 瞬間流量計及び流量測定口 19 定風量・変風量ユニット 20 温度計 21 冷温水管の空気抜き 22 空調機用トラップ 23 鋼板製煙道 24 オイルサービスタンク 25 地下オイルタンク 26 油面制御装置 27 フィルター等付属品 28 パッケージ空調機的能力表示 29 防振吊り及び支持金物	3 換気設備 4 排煙設備 5 自動制御設備	6 衛生器具設備 7 給水設備 8 排水設備 9 給湯設備 10 消火設備 11 ガス設備 12 浄化槽設備	1 衛生器具の参考型番 2 小便器用節水装置 3 自動水栓 4 大便器洗浄弁 5 温水洗浄便座 6 器具と排水管接続 7 量水器 8 配管材料 9 弁類 10 水栓のマンホール 1 配管材料 (イ)屋内汚水管 ● VP ● RF-V P ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-V P ● SGP (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (ウ)ポンプ排水管 ● VP (水道用) ● H I V P ● 排水用塩ビライニング鋼管 (圧送排水鋼管用継手) (エ)通気管 ● VP ● RF-V P ● SGP (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 (オ)屋外排水管 ● VP ● RF-V P ● V U (地中) ● R E P-V U (地中) ● R S-V U ● 卵形管 ● コンクリート管 3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない ※ 施工する ● 施工しない ※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う 1 配管材料 ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管 ● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管 湯沸器・給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 ※ 5K ● 10K 1 配管材料 (ア)一般配管 ● SGP (白) ● STPG (イ)土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS (ウ)地中配管 ● SGP-VS ● STPG-VS ※ 10K ● 16K 2 弁類 (ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する (イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する (ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は別表3・(ハ)・Ⅶによる) ● 屋内消火栓用 (※ 施工しない ● 施工する) ● スプリンクラー用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 連結送水用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 連結放水用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓 (※ 1号 ● 2号) ● 素素 ● I G-541 ● I G-55 ● HFC-227e a ● HFC-23 ※ 手動 ● 自動手動切替式 1 都市ガス設備 2 配管材料 (ア)一般配管 ※ SGP (白) ● 合成樹脂被覆鋼管 (イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 (ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管 ● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事) ● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途) ● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取 ● 標準図(施工73)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 要領(c) ● 標準図(施工74)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 不要 ● 要 (※ 別途工事 ● 本工事) 1 処理種別及び方式 ● 小規模合併処理 (● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気床接触ばっ気方式 ● 脱窒床接触ばっ気方式 ● その他性能評価を受けた方式 ()) ● 合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式) ● ユニット型 ● 現場施工型 3 処理能力 人 ● 処理水量 m ³ /d ● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下 ● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下 4 放流水の水質 ※ 自然流下 ● ポンプ排水 ● 砂 ● 根切土の中の良質土 ● 不要 ● 要(図示による) ※ 製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ボルト式) 3ヶ月相当分を納入する。	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。 ※ 小便器一体型 ● 小便器分離型 ● 洗浄水量4リットル/回以下 ※ 個別感知方式 (● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池) ● 手動式 電源供給方式 ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池 操作方式 ● 電気開閉式 (● センサー式 ● タッチスイッチ式) ● 手動式 洗浄用水加温方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式 ※ 標準図(施工64) ● 標準図(施工65)	● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (※ 直読 ● 遠隔表示) ● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (※ 直読 ● 遠隔表示) (ア)一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316 ● H I V P ● 架橋ポリエチレン管 (イ)土間下配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H I V P ● SUS304 ● SUS316 (ウ)地中配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H I V P ● SUS304 ● SUS316 ● 水道配水用ポリエチレン管 (75~100A) ● 水道用ポリエチレン二層管 (50A以下) (エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 (オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合 (直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。) (カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手 ● 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。 ● 5K (受水槽以降の配管に使用) ● 10K (公営水道に直結する配管に使用) ● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用) 屋外に設置する水栓のマンホール蓋は保温蓋(二重蓋含む)とする。	● VP ● RF-V P ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-V P ● SGP (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (ウ)ポンプ排水管 ● VP (水道用) ● H I V P ● 排水用塩ビライニング鋼管 (圧送排水鋼管用継手) (エ)通気管 ● VP ● RF-V P ● SGP (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 (オ)屋外排水管 ● VP ● RF-V P ● V U (地中) ● R E P-V U (地中) ● R S-V U ● 卵形管 ● コンクリート管 3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない ※ 施工する ● 施工しない ※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う 1 配管材料 ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管 ● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管 湯沸器・給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 ※ 5K ● 10K 1 配管材料 (ア)一般配管 ● SGP (白) ● STPG (イ)土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS (ウ)地中配管 ● SGP-VS ● STPG-VS ※ 10K ● 16K 2 弁類 (ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する (イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する (ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は別表3・(ハ)・Ⅶによる) ● 屋内消火栓用 (※ 施工しない ● 施工する) ● スプリンクラー用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 連結送水用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 連結放水用 (※ 施工しない ● 施工する) ● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓 (※ 1号 ● 2号) ● 素素 ● I G-541 ● I G-55 ● HFC-227e a ● HFC-23 ※ 手動 ● 自動手動切替式 1 都市ガス設備 2 配管材料 (ア)一般配管 ※ SGP (白) ● 合成樹脂被覆鋼管 (イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 (ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管 ● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事) ● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途) ● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取 ● 標準図(施工73)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 要領(c) ● 標準図(施工74)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 不要 ● 要 (※ 別途工事 ● 本工事) 1 処理種別及び方式 ● 小規模合併処理 (● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気床接触ばっ気方式 ● 脱窒床接触ばっ気方式 ● その他性能評価を受けた方式 ()) ● 合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式) ● ユニット型 ● 現場施工型 3 処理能力 人 ● 処理水量 m ³ /d ● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下 ● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下 4 放流水の水質 ※ 自然流下 ● ポンプ排水 ● 砂 ● 根切土の中の良質土 ● 不要 ● 要(図示による) ※ 製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ボルト式) 3ヶ月相当分を納入する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		外気条件					室内 (調整目標値)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				一般			()			()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		温度	湿度	温度	湿度		温度	湿度		温度	湿度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		(DB)	(RH)	(DB)	(RH)		(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	夏 季	36.0	℃	50.2	%		28.0	℃	成り行き	%		℃		%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	冬 季	-0.4	℃	78.5	%		19.0	℃	成り行き	%		℃		%																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	22 絶縁継手	23 防振継手	24 伸縮管継手	25 塗装	26 ステンレス鋼管の接合方法		27 溶接配管の検査	28 埋設表示	29 支持金物・固定金具	30 総合試運転調整	31 アスベスト含有建材の処理	32 補修など	33 はつり	34 はつり工事における非破壊検査	35 室内空気中の化学物質の濃度測定	36 火災保険等	37 グリーン購入	38 鳥取県公共工事環境配慮指針	39 建築物省エネ法	40 耐震施工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													



【工事概要】

- ・寄宿舎のエアコン更新
- ・上記に伴う配管配線等の更新

鳥取県
令和7年度
J2500309
中部総合事務所

一級建築士事務所／建築設備設計事務所 Mechanical&Electrical Engineers X.PLAN		一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認 田村	管理技術者 板倉	担当 板倉	作図 板倉	縮尺 1/800 (A2) 設計年月日 2026. 02	工事名称 県立鳥取中央育英高等学校寄宿舎食堂エアコン更新工事 図面名称 配置図・付近見取図	図面番号 M-03 / 04
--	--	--	----------	-------------	----------	----------	---------------------------------------	--	-------------------



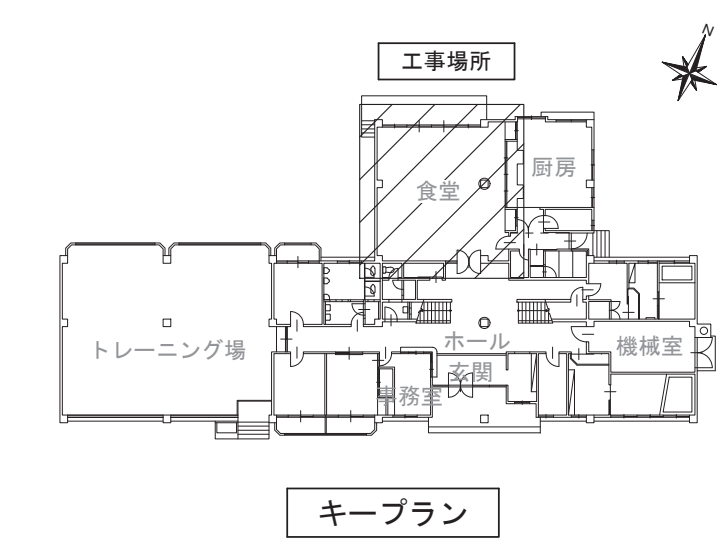
機器表

(改修後)

記号	名称	機器仕様	電気容量(参考)	数量	備考
ACP 1	パッケージエアコン	同時ソイン床置形(高効率タイプ) 耐重塩害仕様 280形	3φ×200V	1	設置場所：1階食堂
		定格冷房能力：25.0(11.3～28.0)kW 定格暖房能力：28.0(12.6～35.0)kW	COMP:5.9kW		
		リモコン(本体取付)、木台、防雪フード(吹出側)、転倒防止金物	FAN内：152W×2台		
		屋外機用銅製平架台300H(溶融亜鉛メッキ)、その他標準付属品共	FAN外：227W×2		
		冷媒配管：12.7φ(液)×25.4(ガス)(9.5φ(液)×15.9(ガス)×2)、ドレン配管：20A			
		定格消費電力：(冷房)10.9kW(暖房)9.19kW			
		室内外渡り線：EM-CEES 2.0sq-3C(冷媒管共巻)、リモコン線：EM-CEES 1.25sq-2C			
注 記					
※エアコンの機種選定において高調波抑制対策指針の適用対象となる場合は、高調波流出電流計算書上の換算係数Ki=1.8以下の機種を選定すること。 なお、Ki値が1.8を超える機器は、高調波抑制対策を講じて換算係数を1.8以下にすること。 ※機器の電源送りは電気工事とする。 ※図中の電気容量は、機器を特定するものではなく参考値とする。 ※冷媒管の口径は製造者の標準仕様とする。なお、冷媒分岐継手等は付属とする。 ※冷媒管のサイズは参考とし、採用メーカーにより変更が必要となった場合は施工者負担で対応する。 ※新設するエアコンは、必要に応じて冷媒の追加充填を行う事。 ※基礎ボルトは採用メーカーの耐震計算書によって仕様を決定すること。 ※既設RC基礎に設置するアンカーについては全箇所引張試験を実施すること。 ※冷媒管屋外保温外装(SUS)は新設とする。 ※冷媒管と並ぶ屋外ドレン管は、原則として冷媒管と共に保温外装内配管とする。 ※エアコンはグリーン購入法適合品とする。 ※パッケージエアコンの定格能力及び定格消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件による。					

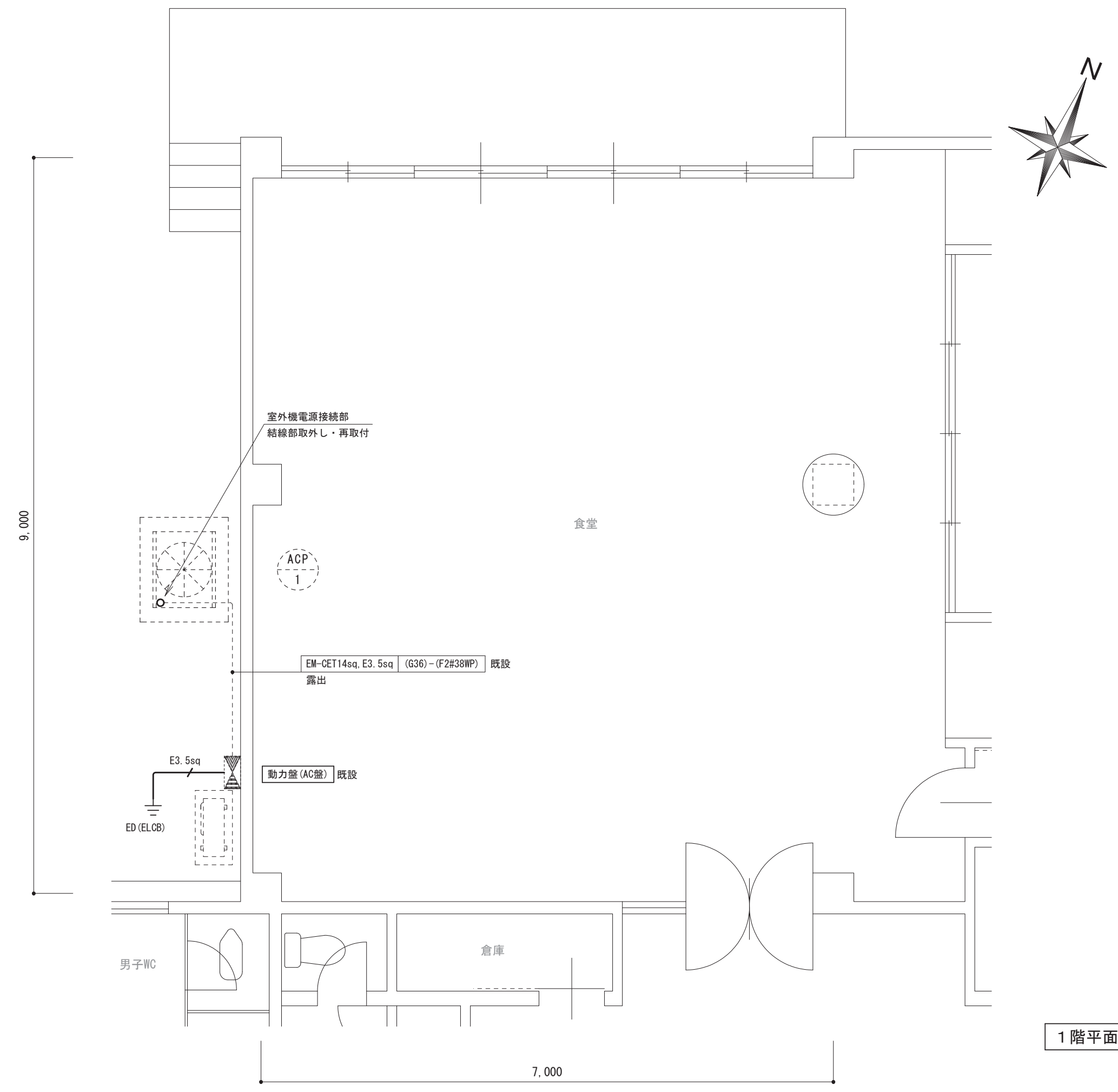
電 気 設 備 工 事 特 記 事 項

- 特 記 仕 様
- 一 般 事 項
- (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち●印の付いたものによる。
- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）
 - 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
 - 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「標準図」という。）
- (2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（令和4年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。



注 記

1. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
2. 図中、太線の配管配線及びシンボルは新設を示す。
3. 図中、細線の配管配線及び細破線のシンボルは既設を示す。
4. 内外機の渡り配線は機械設備工事とする。



1 階平面詳細図 S=1/50 (改修後・前)

鳥取県
令和7年度
J2500309
中部総合事務所

県立倉吉総合産業高等学校 同窓会館エアコン更新工事

図 面 リ ス ト		
図 番	図 面 名 称	縮 尺
M- 00	表紙・図面リスト	NS
M - 01	機械設備工事特記仕様書（１）	NS
M - 02	機械設備工事特記仕様書（２）	NS
M - 03	配置図・付見取図	1/800
M - 04	冷暖房設備 機器表（改修前・改修後）・平面詳細図	1/100
E - 01	空調機電源設備 平面図（改修後）	1/100



機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

I. 工 事 概 要

1 工 事 場 所 倉吉市小田

2 建 物 概 要

番 号	建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による 延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備 考
1	同窓会館	W	1	129.94	(5) 項 口	
2					() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工 事 種 目 (● 印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番 号	1	2	3	4	5	屋外	備 考
● 空調調和設備								
● 冷暖房設備	○							
● 換気設備								
● 排煙設備								
● 自動制御設備								
● 衛生器具設備								
● 給水設備								
● 排水設備								
● 給湯設備								
● ガス設備								
● 浄化槽設備								
● 消火設備								
● さく井設備								
● 電気設備工事	○							
● 建築工事								

4 設 備 概 要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

● 印の付いたものを適用する。

	項 目	設 備 概 要
空 気 調 和 及 冷 暖 房 設 備	● 空調調和設備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
	● 冷暖房設備	● ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式
	● 暖房設備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房 (● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房
	● 熱源	● 電気 ● 灯油 ● A 重油 ● ガス ● バイオマス
	● 主要熱源機器	● 鋼製ボイラー ● 鋳鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器 ● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直置き吸収式冷温水機 ● 小形吸収式冷温水機ユニット ● バイオマスボイラー ● ルームエアコン ● ヒートポンプパッケージエアコン (マルチタイプ ● 有 ● 無) ● 温風暖房機 ● F F 暖房機 ● その他 ()
換気設備		● 第一種 ● 第二種 ● 第三種
	排煙設備	● 機械排煙 (適用法規 ● 建基法 ● 消防法)
	自動制御設備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
衛 生 設 備	● 給水設備	給水方式 ● 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式 水源 ● 水道水 ● 井水
	● 排水設備	排水方式 ● 自然流下 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水) 放 流 先 ● 汚 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 雑 排 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 ● 雨 水 ● 公共下水道 ● 側溝 ● 河川 浄 化 槽 処 理 方 式 ● 小規模合併 ● 合併 処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
	● 給湯設備	● 局所式 (● ガス ● 油 ● 電気) ● 中央式 (● 油 ● ガス ● 電気)
	● 消火設備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結散水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置 ● 不活性ガス消火 (● 窒素 ● 窒素系) ● ハロゲン化物消火
	● ガス設備	● 都市ガス (MJ / Nm3) ● 液化石油ガス

II. 特 記 仕 様

1 一 般 事 項

- (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、
- 印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (令和4年版) (以下「標準図」という。)
- (2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針 (令和4年版)」 (以下「監理指針」という。) を適用する。
- (3) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特 記 事 項

- (1) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は ● 印の付いたものを適用する。
- 印の付かない場合は、 ※ 印の付いたものを適用する。 ● 印と ● 印の付いた場合は両方を適用する。
- (3) 一般共通事項のうち () 項は、● 建 築 ● 電気設備 工事特記仕様書による。

	項 目	特 記 事 項
一 般 共 通 事 項	① 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。
	② 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。
	3 工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。
	④ 発生材の分析及び処理	引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り () 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う (● 廃石綿 (配管用保温材) ● P C B 使用機器 ●) アスベスト含有設備資機材 (ガスケット、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物) は関係法令に従い適切に処理を行う。 P C B 使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量 P C B 分析 ※ 無し ● 有り 再生資源化を図るもの ※ 無し ● 有り (● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ●)
	⑤ 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。なお、 (一社) 公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	⑥ 機材の品質・性能証明	J I S 等のマーク及び評価書のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2 (3) の品質及び性能を有することの性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。
	⑦ 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集 (令和4年版) によるほか、監督職員の指示による。
	⑧ 図形等の表示	機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
	⑨ 電気容量及び機器表示	機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。
	⑩ 技能士の適用	電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札 (下図参考) を常時着用する。 ● 配管 (● 1 級 ● 2 級) ● 熱絶縁施工 (● 1 級 ● 2 級) ● 冷凍空気調和機器施工 (● 1 級 ● 2 級) ● 建築板金 (● 1 級 ● 2 級)
	《技能士名札参考図》	
	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを出す。	
	区 分	分類・規格
	工事写真	カラーサービス判
	完成写真	カラーサービス判
	撮影箇所	各工種工程毎
	部数	※ 1 部 ● 部
	電子データの提出	● 要 ● 不要
	区 分	分類・規格
	工事写真	カラーサービス判
	完成写真	カラーサービス判
	撮影箇所	監督職員の指示による
	部数	※ 2 部 ● 部
	電子データの提出	● 要 ● 不要
	区 分	分類・規格
	工事写真	カラーサービス判
	完成写真	カラーサービス判
	撮影箇所	監督職員の指示による

13 完成図等

14 他工事との取合

15 工事用水・電力・その他

16 表示板

17 足場

18 工事用仮設物

19 土工事

20 保温工事

次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

区 分	名 称	部 数
※ 完成図原因	完成図 ● 原紙 ● C A D データ ● P D F データ 施工図 ● 原紙 ● C A D データ ● P D F データ	1 部
※ 完成図 2 つ折製本	● 完成図 ● 完成図 (縮小版) ● 施工図	※ 2 部 ● 部
※ 完成図書 ● A 4 版市販ファイル ● A 4 版黒表紙製本	● 完成図 (縮小版) ● 主要機器図 ● 試験成績書	※ 2 部 ● 部
※ 保守用説明書 (A 4 版ファイル)	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2 部 ● 部
※ 保証書		1 部
※ 官公署の届出書類		1 部
● 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。		

他工事との取合い		建 築	電気設備	機械設備
● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリブ・箱入	●	●	※
	補 強	※	●	●
● 鉄骨造の開口及び補強		※	●	●
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート (くぎ処理共)		●	※	●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		●	※	●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠	●	※	●
	補 強	※	●	●
● ○ A フロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	●	●
● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切 り 込 み	●	●	※
	補 強	※	●	●
● 自動開閉装置を付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※	●	●
● 電気室、自家発電室などの基礎及びビット (蓋を含む)		※	●	●
● 天井点検口		※	●	●
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	●	●	※
	屋 上 設 置	※	●	●
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		●	●	※
● 機器用コントロールスイッチ (空調機、給湯器等) の取付及び配線		●	●	※

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。

設ける。(寸法等は下図により。建築工事、電気設備工事等と一括して表示する。)

※ 工事表示板	● お願い表示板

手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

構内に作ることが	※ 出来る	◎ 出来ない
(ア) 埋め戻し土	● 根切土のなかの良質土 (● コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ● 山砂の類 () ● 真砂土 ()	
(イ) 建設発生土処分	● 構外に搬出	● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積
● 冷温水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)		
● 蒸気管 (● ロックウール ● グラスウール)		
● 給水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)		
● 保温チューブ (厚さ@)		
● 排水管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)		
● 給湯管 (● ロックウール ● グラスウール ● 保温チューブ (厚さ@))		
● 消火管 (● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム)		
● ダクト (● ロックウール ● グラスウール)		
● 燃焼熱源等機械室内の配管 (● ロックウール ● グラスウール)		
● 全熱交換機の給気ダクト (● 機器外気側 ● 機器室内側) は保温 (グラスウール 2 5 mm 厚) する。		
◎ 冷媒管の保温外装 屋内 (● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート)		
屋外 (● 樹脂製化粧ケース ● S U S 銅板)		

鳥取
令和7
J2500

中部総合

鳥取県
令和7年度
J2500309
中部総合事務所

	一級建築士事務所／建築設備設計事務所 Mechanical&Electrical Engineers 	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承 認	管理技術者	担 当	作 図	縮 尺	NS	工事名称	県立倉吉総合産業高等学校同窓会館エアコン更新工事	図面番号 M-01 / 04
							設計年月日	2026. 02	図面名称	機械設備工事特記仕様書（１）	

一般共通事項

21 鋼管類の防食処置

22 絶縁継手

23 防振継手

24 伸縮管継手

25 塗装

26 ステンレス鋼管の接合方法

27 溶接配管の検査

28 埋設表示

29支持金物・固定金具

30 総合試運転調整

31 アスベスト含有建材の処理

32 補修など

33 はつり

34 はつり工事における非破壊検査

35 室内空気中の化学物質の濃度測定

36 火災保険等

37 グリーン購入

38 鳥取県公共工事環境配慮指針

39 建築物省エネ法

40 耐震施工

21 鋼管類の防食処置

22 絶縁継手

23 防振継手

24 伸縮管継手

25 塗装

26 ステンレス鋼管の接合方法

27 溶接配管の検査

28 埋設表示

29支持金物・固定金具

30 総合試運転調整

31 アスベスト含有建材の処理

32 補修など

33 はつり

34 はつり工事における非破壊検査

35 室内空気中の化学物質の濃度測定

36 火災保険等

37 グリーン購入

38 鳥取県公共工事環境配慮指針

39 建築物省エネ法

40 耐震施工

21 鋼管類の防食処置

22 絶縁継手

23 防振継手

24 伸縮管継手

25 塗装

26 ステンレス鋼管の接合方法

27 溶接配管の検査

28 埋設表示

29支持金物・固定金具

30 総合試運転調整

31 アスベスト含有建材の処理

32 補修など

33 はつり

34 はつり工事における非破壊検査

35 室内空気中の化学物質の濃度測定

36 火災保険等

37 グリーン購入

38 鳥取県公共工事環境配慮指針

39 建築物省エネ法

40 耐震施工

21 鋼管類の防食処置

22 絶縁継手

23 防振継手

24 伸縮管継手

25 塗装

26 ステンレス鋼管の接合方法

27 溶接配管の検査

28 埋設表示

29支持金物・固定金具

30 総合試運転調整

31 アスベスト含有建材の処理

32 補修など

33 はつり

34 はつり工事における非破壊検査

35 室内空気中の化学物質の濃度測定

36 火災保険等

37 グリーン購入

38 鳥取県公共工事環境配慮指針

39 建築物省エネ法

40 耐震施工

1 空気調和設備

2 冷暖房設備

3 換気設備

4 排煙設備

5 自動制御設備

1 設計用温湿度条件

2 冷却水管

3 冷水・温水・冷温水管

4 膨張・空気抜・補給水管

5 蒸気給水管

6 蒸気還水管

7 油・油用通気管

8 冷媒管

9 空調用給水管

10空調用排水管

11 弁類

12 ファンコイルユニット

13 ダンパー

14 ダクト

15 吹出口・吸込口

16 チャンパー等

17 消音内貼り

18 瞬間流量計及び流量測定口

19 定風量・変風量ユニット

20 温度計

21 冷温水管の空気抜き

22 空調機用トラップ

23 銅板製煙道

24 オイルサービスタンク

25 地下オイルタンク

26 油面制御装置

27 フィルター等付属品

28パッケージ空調機的能力表示

29 防振吊り及び支持金物

1 ダクト

2 排煙口

3 排煙口開放及び復帰方式

4 排煙風量測定

1 中央監視制御盤装置

2 電源装置

3 温度調節器等

4 計装工事の配線

外気条件

室内（調整目標値）

一般

（）

（DB）

（RH）

（DB）

（RH）

（DB）

（RH）

夏季

36.0

℃

50.2

%

28.0

℃

成り行き

%

℃

%

冬季

-0.4

℃

78.5

%

19.0

℃

成り行き

%

℃

%

※SGP（白）

●SGP-V A

●SGP-P A

※SGP（白）

●SGP-H V A

●ステンレス鋼管（SUS304）

●架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る）

●ポリブテン管（ファンコイル機器接続部に限る）

※SGP（白）

●ステンレス鋼管（SUS304）

※SGP（黒）

※STPG370-Sch40（黒）

●ステンレス鋼管（SUS304）

一般配管

※SGP（黒）

地中配管

※合成樹脂被覆鋼管

※断熱材被覆鋼管

●ステンレス鋼管

●SGP-V A

●

※SGP（白）

⓪V P

※5 K

●10 K

※流量調整弁

●定流量弁（

●ダイヤフラム式流量可変式

●カートリッジオリフィス形

）を取付ける。

（ア）防煙ダンパー

※遠隔復帰式

●電気式

（動作用電圧、電流はDC24 V、0.7 A以下とする。）

（イ）ビストンダンパー

※遠隔復帰式

●

●低圧ダクト

●高圧1ダクト

●高圧2ダクト

●長方形ダクト

●コーナーボルト工法（

●共振工法

●スライドオンフランジ工法

）

（長辺1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする。）

●アングルフランジ工法

●防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。

ボックス

※亜鉛鉄板製

●ガラスウール製

シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工49）を参考とする。

接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。

線状吹出口には、（長さ＋100）×300×300Hの接続チャンパーを設ける。

外壁に面するガラリにチャンパー等を取付ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。

吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。

内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。

吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口（原則400×600）を取付ける。

形式はビート管式（コック付）とする。

●着脱式

●固定式

下記の箇所、若しくは図示により取付ける。

●冷凍機類の冷水出口

●瞬間流量計

●測定用タッピング

●冷凍機類の冷却水出口

●瞬間流量計

●測定用タッピング

●ボイラー又は熱交換器の温水出口

●瞬間流量計

●測定用タッピング

●冷温水ヘッダーの各送り管

●瞬間流量計

●測定用タッピング

●ユニット形空調機と機の冷温水入口

●瞬間流量計

●測定用タッピング

●メカニカル形

●風速センサー形

機器付属以外の温度計

※工業用バイメタル式

●ガード付し形温度計

空気漏りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

●手動

●自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工38（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型）

※FRP製保温型

●FRP製

●SUS製

材質及び厚さ

●SS400（※3.2mm

●4.5mm

）

●SUS（※1.5mm

●2.0mm）

煤煙濃度計

●取付けない

●取付座を付ける

煤じん量測定口（80φ×2）

※取付ける

●取付けない

油面計はゲージ式（側圧計）とする。

据付け方法

●標準図（施工32）（二重殻タンク・タンク室無し）

●標準図（施工33）（タンク室有り）

タンクの保護被覆

※強化プラスチック

●エポキシ樹脂

●アスファルト

基礎杭

※不要

●要（※別途工事

●本工事

）

土留め工事

●要

●不要

タンクローリー用アース端子を設ける。

油面制御装置の機能

●給油ポンプの起動停止

●満油警報

●減油警報

●

●機器表記による。

●空調機と機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。

インバーター機の場合は表示された能力は、型番で選定する。

標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。

6 衛生器具設備

7 給水設備

8 排水設備

9 給湯設備

10 消火設備

11 ガス設備

12 浄化槽設備

1 衛生器具の参考型番

2 小便器用節水装置

3 自動水栓

4 大便器洗浄弁

5 温水洗浄便座

6 器具と排水管接続

1 量水器

2 配管材料

3 弁類

4 水槽のマンホール

1 配管材料

2 弁類

1 配管材料

2 弁類

3 保温

4 屋内消火栓

5 ガス系消火剤の種類

6 ガス系消火の起動方式

1 都市ガス設備

2 配管材料

3 ガスメータ

4 バルク貯槽

5 容器廻りの配管

6 容器転倒防止

7 ガス漏れ警報器

1 処理種別及び方式

2 型式

3 処理能力

4 放流水の水質

5 排水方式

6 埋戻し土

7 土留め工事

8 マンホールふた

9 消毒薬

型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。

※小便器一体型

●小便器分離型

●洗浄水量4リットル／回以下

※個別感知方式（

●AC電源

●自己発電

●乾電池

）

●手動式

電源供給方式

●AC電源

●自己発電

●乾電池

操作方式

●電気開閉式（

●センサー式

●タッチスイッチ式

）

●手動式

洗浄用水加温方式

●瞬間式

●貯湯式

※標準図（施工64）

●標準図（施工65）

●観メーター

※借用

●買取

（※直読

●遠隔表示

）

●子メーター

※買取

●借用

（※直読

●遠隔表示

）

（ア）一般配管

●SGP-V B

●SGP-P B

●SUS304

●SUS316

●H I V P

●架橋ポリエチレン管

（イ）土間下配管

●SGP-V D

●SGP-P D

●H I V P

●SUS304

●SUS316

（ウ）地中配管

●SGP-V D

●SGP-P D

●H I V P

●SUS304

●SUS316

●水道配水用ポリエチレン管（75～100A）

●水道用ポリエチレン二層管（50A以下）

（エ）特記なき給水管の最小口径は20Aとする。

（オ）ビニル管の接合方法

※接着接合

●ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。）

（カ）ポリエチレン管の接合方法

50A以下

※金属製継手

●融着継手

75A以上

※融着継手

※口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。

●5 K（受水槽以降の配管に使用）

●10 K（公営水道に直結する配管に使用）

●公営水道事業者指定の止水栓又は弁（給水引込部に使用）

屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形（二重蓋含む）とする。

（ア）屋内汚水管

●V P

●R F-V P

●排水用塩ビライニング鋼管

●耐火二層管

（イ）屋内雑排水管

●V P

●R F-V P

●SGP（白）

●排水用塩ビライニング鋼管

●耐火二層管

（ウ）ポンプ排水管

●V P（水道用）

●H I V P

●排水用塩ビライニング鋼管（圧送排水管用継手）

（エ）通気管

●V P

●R F-V P

●SGP（白）

●排水用塩ビライニング鋼管

（オ）屋外排水管

●V P

●R F-V P

●V U（地中）

●R E P-V U（地中）

●R S-V U

●卵形管

●コンクリート管

3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を

※取付ける

●取付けない

※施工する

●施工しない

※行わなくてもよい

●図示の系統のみ行う

●SGP-H V A

●ステンレス鋼管

●架橋ポリエチレン管

●保温付被覆鋼管

●鋼管

湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。

※5 K

●10 K

（ア）一般配管

●SGP（白）

●ST P G

（イ）土間下配管

●SGP-V S

●ST P G-V S

（ウ）地中配管

●SGP-V S

●ST P G-V S

※10 K

●16 K

（ア）呼水タンク

※施工しない

●施工する

（イ）充水タンク

※施工しない

●施工する

（ウ）配管の保温は次による。（屋外露出箇所は種別e3・（ハ）・Ⅶによる）

●屋内消火栓用（※施工しない

●施工する

）

●スプリングラウ用（※施工しない

●施工する

）

●連結送水用（※施工しない

●施工する

）

●連結散水用（※施工しない

●施工する

）

●広範囲型2号消火栓

●易操作性1号消火栓

●屋内消火栓（

●1号

●2号

）

●窒素

●I G-541

●I G-55

●H F C-227e a

●H F C-23

※手動

●自動手動切替式

都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。

（ア）一般配管

※SGP（白）

●合成樹脂被覆鋼管

（イ）土間下配管

※合成樹脂被覆鋼管

●合成樹脂被覆鋼管

（ウ）地中配管

※合成樹脂被覆鋼管

●ガス用ポリエチレン管

●親メーター

※借用

●買取

（取付け

※別途

●本工事

）

●子メーター

※買取

●借用

（取付け

※本工事

●別途

）

●縦型

●横型

●借用

●買取

●標準図（施工73）の

●要領（a）

●要領（b）

●要領（c）

●標準図（施工74）の

●要領（a）

●要領（b）

●不要

●要（※別途工事

●本工事

）

●小規模合併処理（

●分離接触ばっ気方式

●嫌気ろ床接触ばっ気方式

●脱窒ろ床接触ばっ気方式

●その他性能評価を受けた方式（

）

）

●合併処理

（

●接触ばっ気方式

●長時間ばっ気方式

●回転板接触方式

）

●ユニット型

●現場施工型

●処理対象人員

人

●処理水量

m3／d

●流入BOD

200mg／L

●放流水質BOD

20mg／L以下

●T-N

mg／L以下

●T-P

mg／L以下

※自然流下

●ポンプ排水

●砂

●根切土中の良質土

●不要

●要（図示による）

※製造者標準仕様（ロック式）

●MHA型（ボルト式）

3ヶ月相当分を納入する。

一級建築士事務所／建築設備設計事務所

一級建築士事務所

鳥取県知事登録 第 03-1014 号

管理建築士 川合友加里

一級建築士登録 第 370007 号

建築設備士 田村志郎

建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認

田村

管理技術者

板倉

担当

板倉

作図

板倉

縮尺

NS

設計年月日

2026. 02

工事名称

県立倉吉総合産業高等学校同窓会館エアコン更新工事

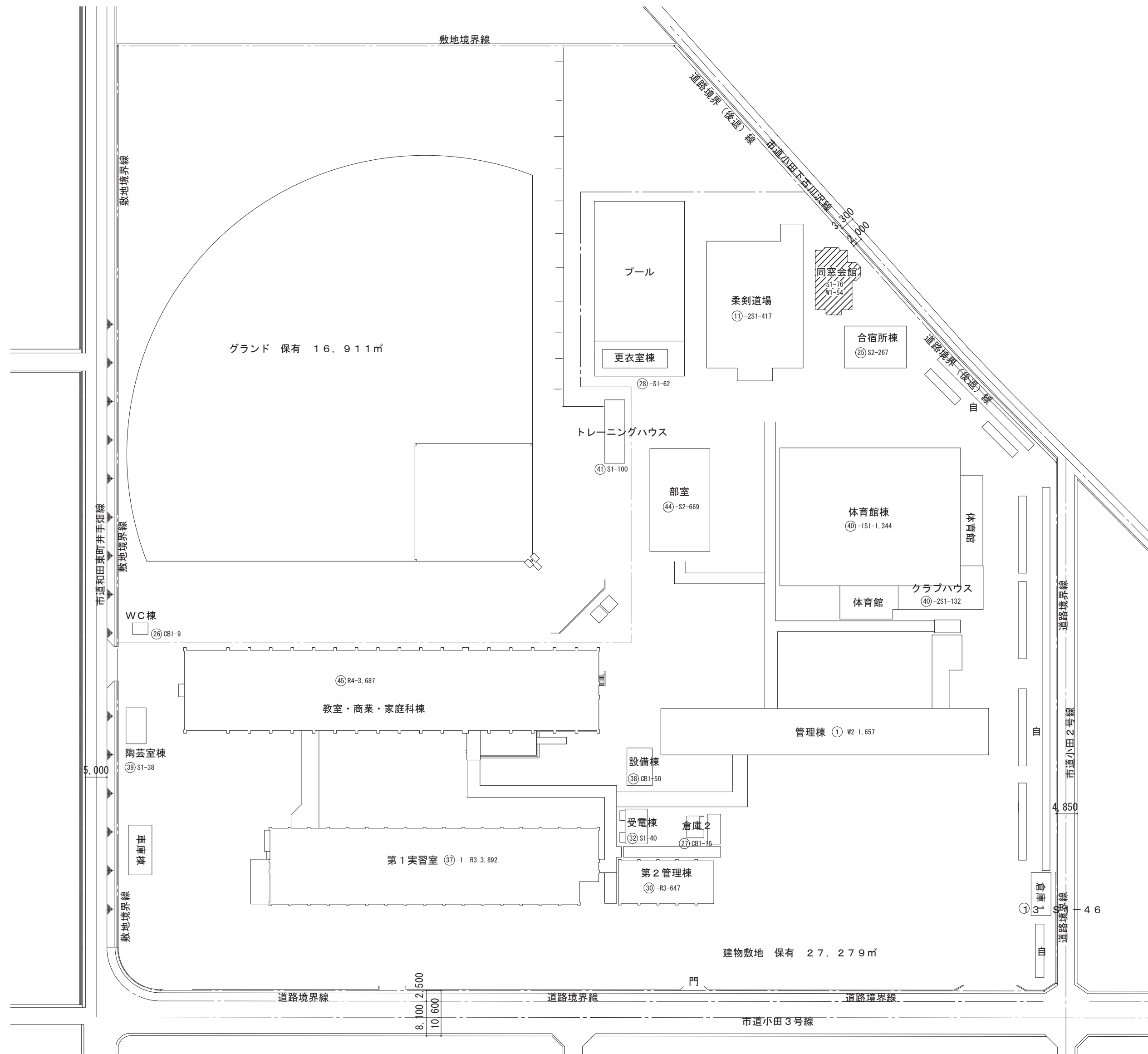
図面番号

M-02

図面名称

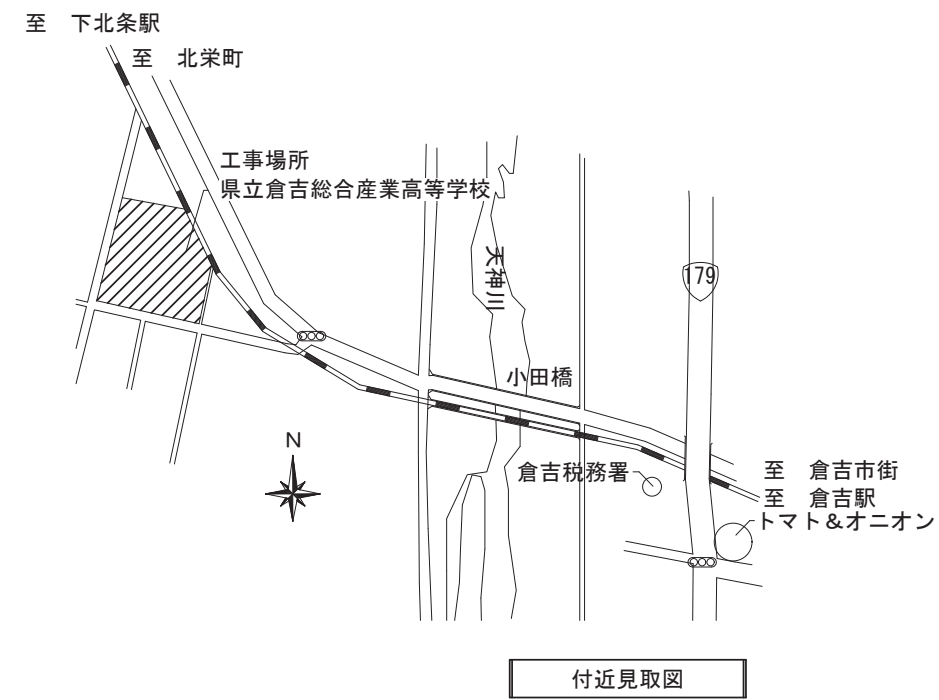
機械設備工事特記仕様書（2）

04



配置図 S=1/800

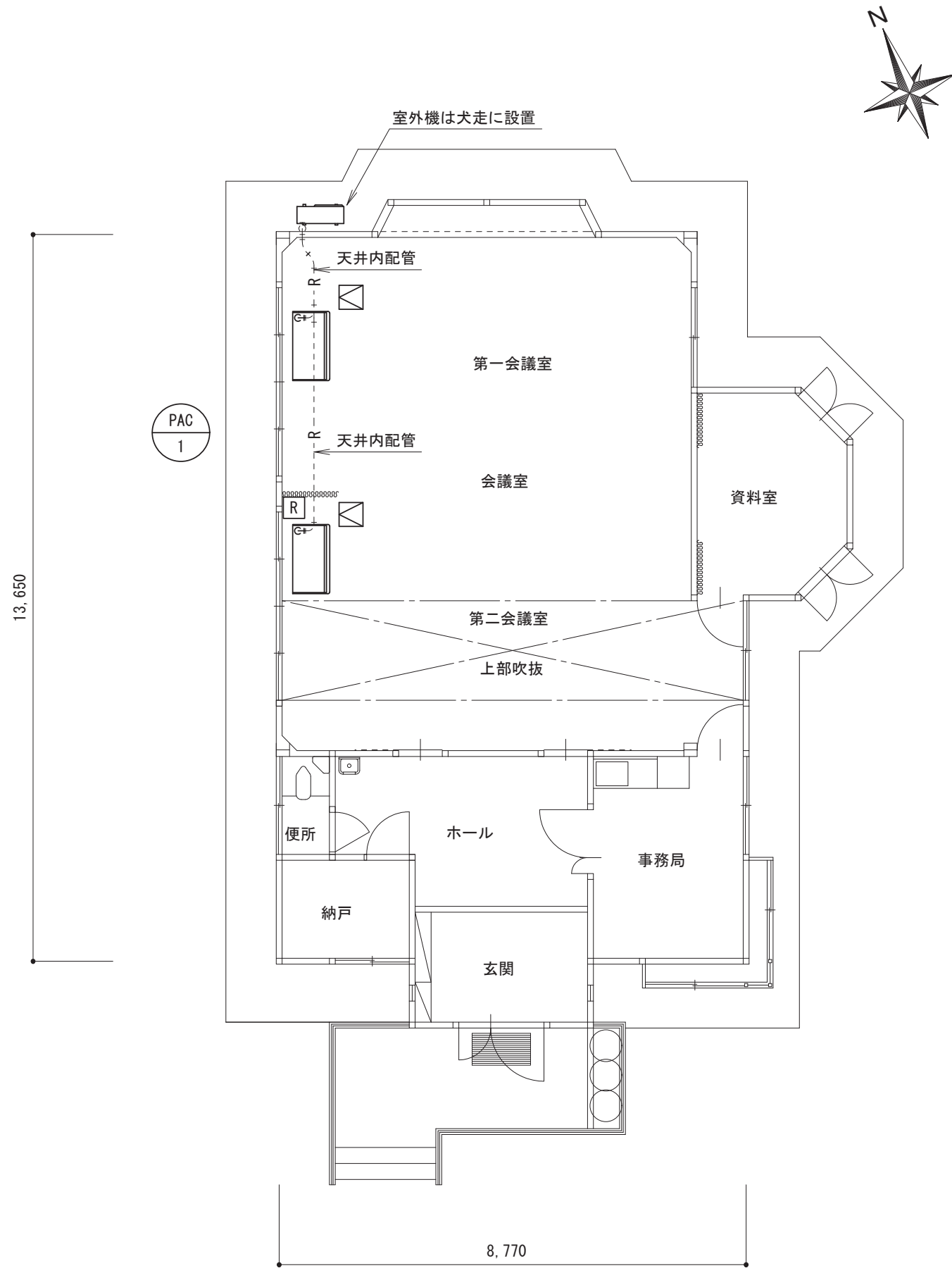
工場所を示す



付近見取図

【工事概要】
・同窓会館のエアコン更新
・上記に伴う配管配線等は再利用

鳥取県
令和7年度
J2500309
中部総合事務所



1 階平面図 S=1/100

機器表						(改修前)
記号	名称	機器仕様	電気容量	数量	備考	
PAC 1	パッケージエアコン	同時ツイン天吊形 耐塩害仕様 180形	3φ×200V	1	設置場所：1階会議室 ダイキン製 品番：RYJ180K(室外機) 品番：FHYJ90F(室内機)	
		定格冷房能力：18.0kW 定格暖房能力：20.0kW 暖房低温能力：14.5kW	COMP:4.5kW			
		ワイヤードリモコン, ドレンアップ, 屋外機用鋼製平架台300H (溶融亜鉛メッキ)	FAN内：130W×2台			
		その他標準付属品共	FAN外：(130+100)W			
		冷媒：R22-4.1kg				
		冷媒配管：9.5φ(液)×19.1(ガス)((9.5φ(液)×15.9(ガス)×2)				
		ドレン配管：20A				
室内外渡り線：EM-CEES 2.0sq-3C (冷媒管共巻), リモコン線：EM-CEES 1.25sq-2C						
注 記						
※図中の太線は改修対象機器及び配管・同付属品を示し、細破線は既設を示す。 ※機器の電源取外しは電気工事とする。 ※冷媒管屋外保温外装(樹脂製化粧ケース)は撤去処分とする。 ※図中、 R はエアコンリモコンを示す。						



機器表						(改修後)	
記号		名称	機器仕様	電気容量(参考)	数量	備考	
PAC 1		パッケージエアコン	同時ツイン天吊形(既設冷媒管再利用・高効率タイプ) 耐塩害仕様 224形	3φ×200V	1	設置場所：1階会議室	
			定格冷房能力：20.0(9.0～22.4)kW 定格暖房能力：22.4(10.1～28.0)kW	COMP:4.52kW			
			ワイヤードリモコン、ドレンアップ、転倒防止金物	FAN内：150W×2台			
			屋外機用鋼製平架台300H(溶融亜鉛メッキ)、その他標準付属品共	FAN外：227W×2			
			冷媒配管：9.5φ(液)×25.4(ガス)((9.5φ(液)×15.9(ガス)×2)、ドレン配管：20A				
			定格消費電力：(冷房)6.60kW(暖房)6.05kW				
			室内外渡り線、リモコン線は再利用				
注 記							
※エアコンの機種選定において高調波抑制対策指針の適用対象となる場合は、高調波流出電流計算書上の換算係数Ki=1.8以下の機種を選定すること。 なお、Ki値が1.8を超える機器は、高調波抑制対策を講じて換算係数を1.8以下にすること。 ※機器の電源送りは電気工事とする。 ※図中の電気容量は、機器を特定するものではなく参考値とする。 ※冷媒管の口径は製造者の標準仕様とする。 ※採用メーカーにより変更が必要となった場合は施工者負担で対応する。 ※新設するエアコンは、必要に応じて冷媒の追加充填を行う事。 ※室内機の更新に伴い、機器の接続部から300mm程度は冷媒管・ドレン配管(保温共)の更新をそれぞれ見込むものとする。 ※冷媒管屋外保温外装(樹脂製化粧ケース)は新設とする。 ※冷媒管と並ぶ屋外ドレン管は、原則として冷媒管と共に樹脂製保温化粧ケース内配管とする。 ※リモコン配線は既設配管・配線を再利用とし、切り離し再接続する。 ※既設犬走に設置するアンカーについては全箇所引張試験を実施し、支障が出た場合は別途協議する。 ※エアコンはグリーン購入法適合品とする。 ※パッケージエアコンの定格能力及び定格消費電力は、JIS B 8616に規定された定格条件による。							



電 気 設 備 工 事 特 記 事 項

特 記 仕 様

一 般 事 項

(1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち●印の付いたものによる。

●公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）

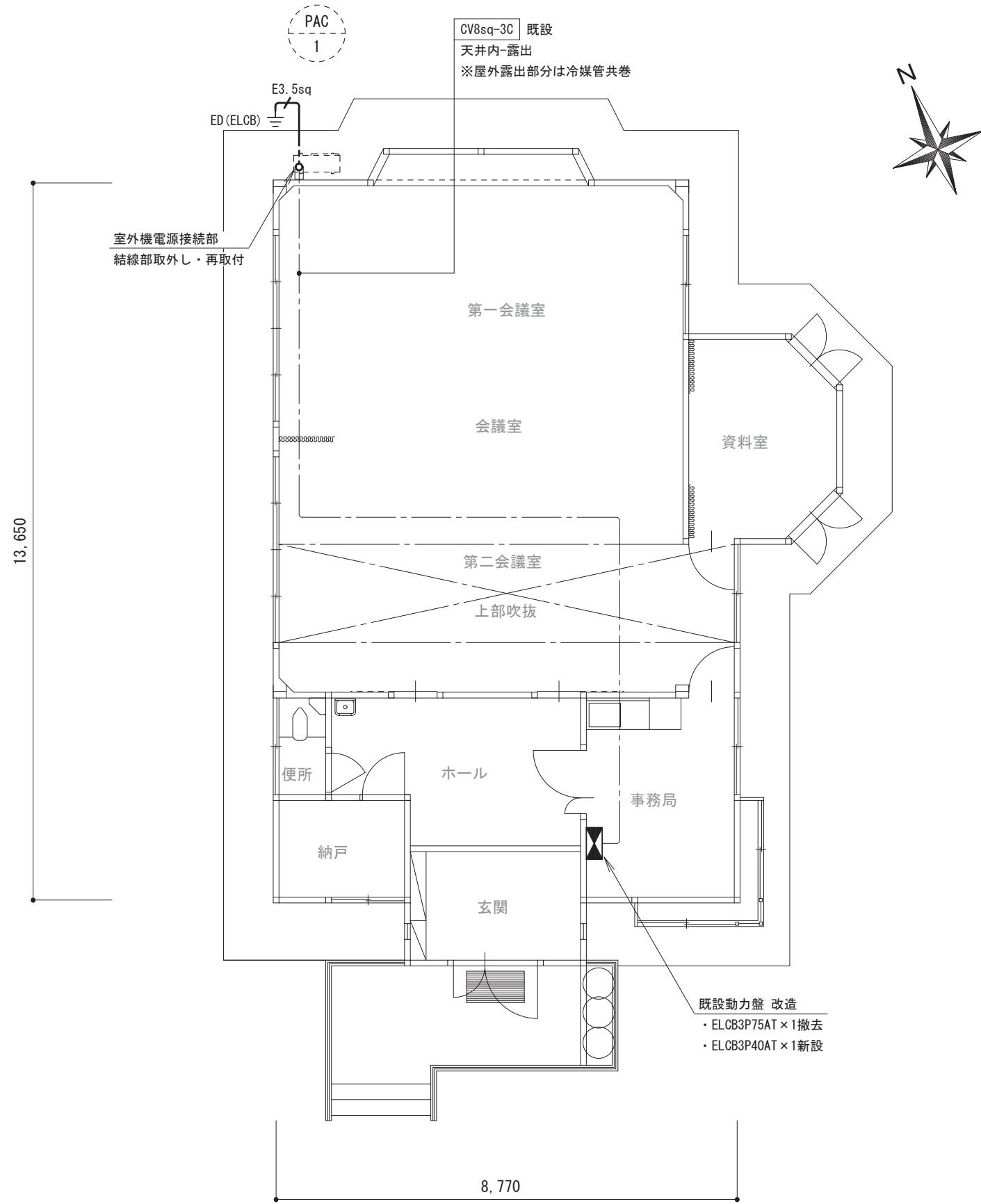
●公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）

●公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「標準図」という。）

(2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（令和4年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。

注 記

- 既存設備を十分調査の上、施工のこと。
- 図中、太線の配管配線及びシンボルは新設を示す。
- 図中、細線の配管配線及び細破線のシンボルは既設を示す。
- 内外機の渡り配線は機械設備工事とする。



1 階平面図 S=1/100 (改修後・前)



衛生環境研究所第2水質分析室外部排気ダクト更新工事

図 番	図 名
0	図面リスト・特記仕様書
1	附近見取図・配置図
2	2階ダクト平面図
3	3階ダクト平面図

特記仕様書

1 一般事項

(1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）」（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）」（以下「標準図」という。）による。ただし、改修工事については「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

(2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（令和4年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。

(3) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書、改修標準仕様書及び監理指針を適用する。

2 特記事項

(1) 官公署その他への手続
工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、受注者の負担とする。

(2) 機材等
本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。なお、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。

(3) 機材の品質・性能証明
JISマーク等のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2（c）により、品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。

(4) 施工図等
提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。

(5) 完成写真等
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版」による。
完成写真（カラーサービス判：2部）、工事写真（カラーサービス版：1部）を提出する。（電子データ共）

(6) 完成図等
次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。
・完成図、施工図（CADデータ、PDFデータ）1部
・完成図2つ折製本（A3判）2部
・完成図（A4版市販ファイル）：完成写真、完成図A4折、施工図、主要機器図、試験成績書2部
・保守用説明書（A4版市販ファイル）：保守に関する指導案内書、機器取扱説明書、主要機器一覧表2部
・保証書1部
・官公署届出書類1部

(7) 技能士の適用
適用しない

(8) 電気保安技術者
適用しない

(9) 工事用水・電力
本工事に必要な工事用水、電力などの費用はすべて受注者の負担とする。

(10) 表示板
設ける。（寸法等は下図による。）

(11) 補修など
工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。

(12) 火災保険等
工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。
（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで【概ね工期+21日】とする。）



※ 技能士名札参考図

55mm

技 能 士

職 種 配管

作業名 建築配管作業

級 別 1 級

氏 名 ○山○夫

勤務先 ○○工務店

自 宅 鳥取市

技能士番号 00-0-000-00-0000

発 行 000000000

写真（30×40程度）

90mm

主要事項（職種、作業名、級別、氏名、住所地、技能士番号、発行元、本人写真）が記載してあればレイアウトは問わない。

※ 工事表示板（書体は角ゴシックとする）

900

1,200

建 築 工 事 中

工 事 名 ○○○○○○改修工事

工事概要 ○○○○○○
○○○○○○○○○○○○

工事期間 令和○年○月○日から令和○年○月○日まで

監理者 中部総合事務所環境建築局建築住宅課

施工者 ○○○○○建設

連絡先昼間 ○○-○○○○

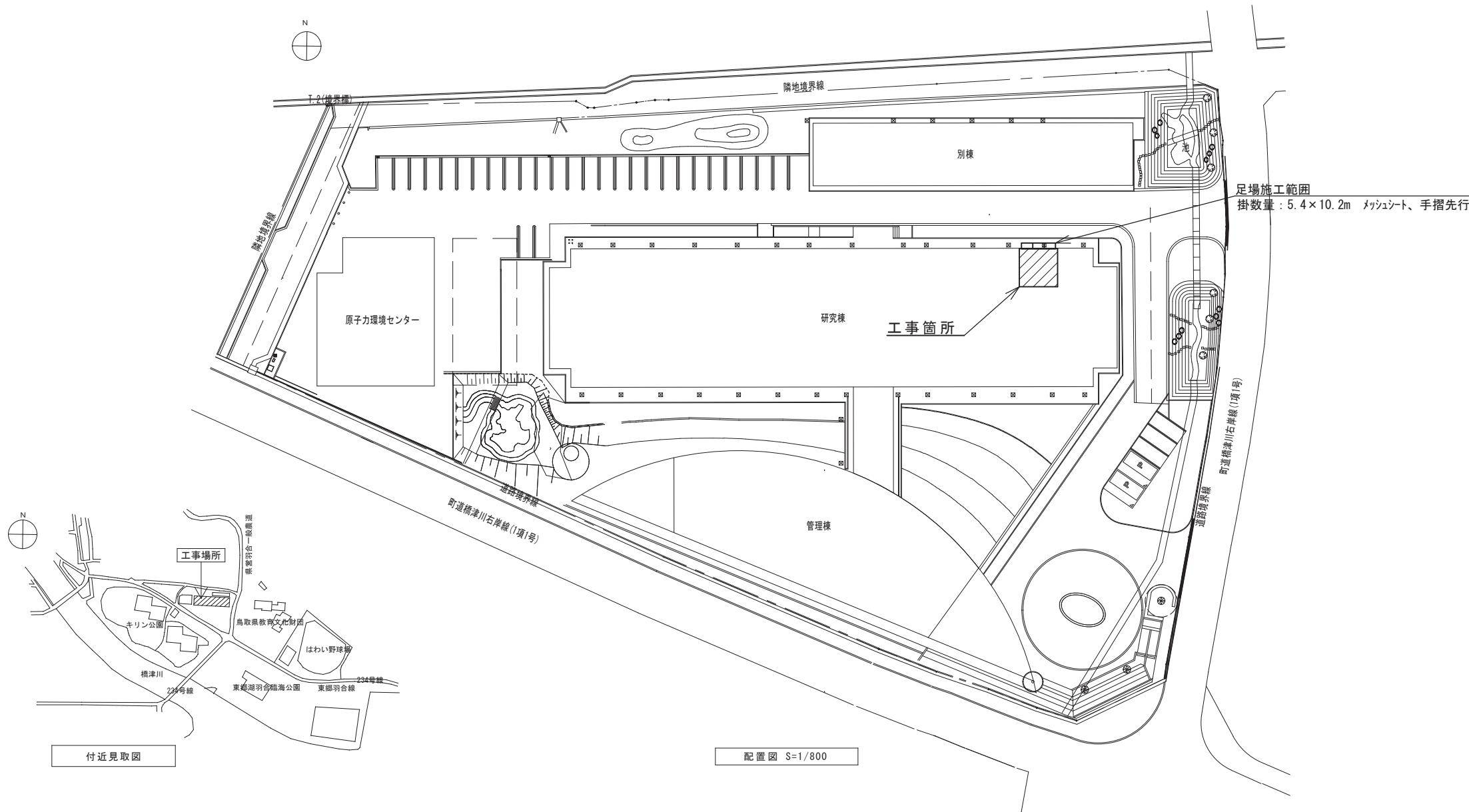
夜間 ○○-○○○○

現場責任者 ○○ ○○

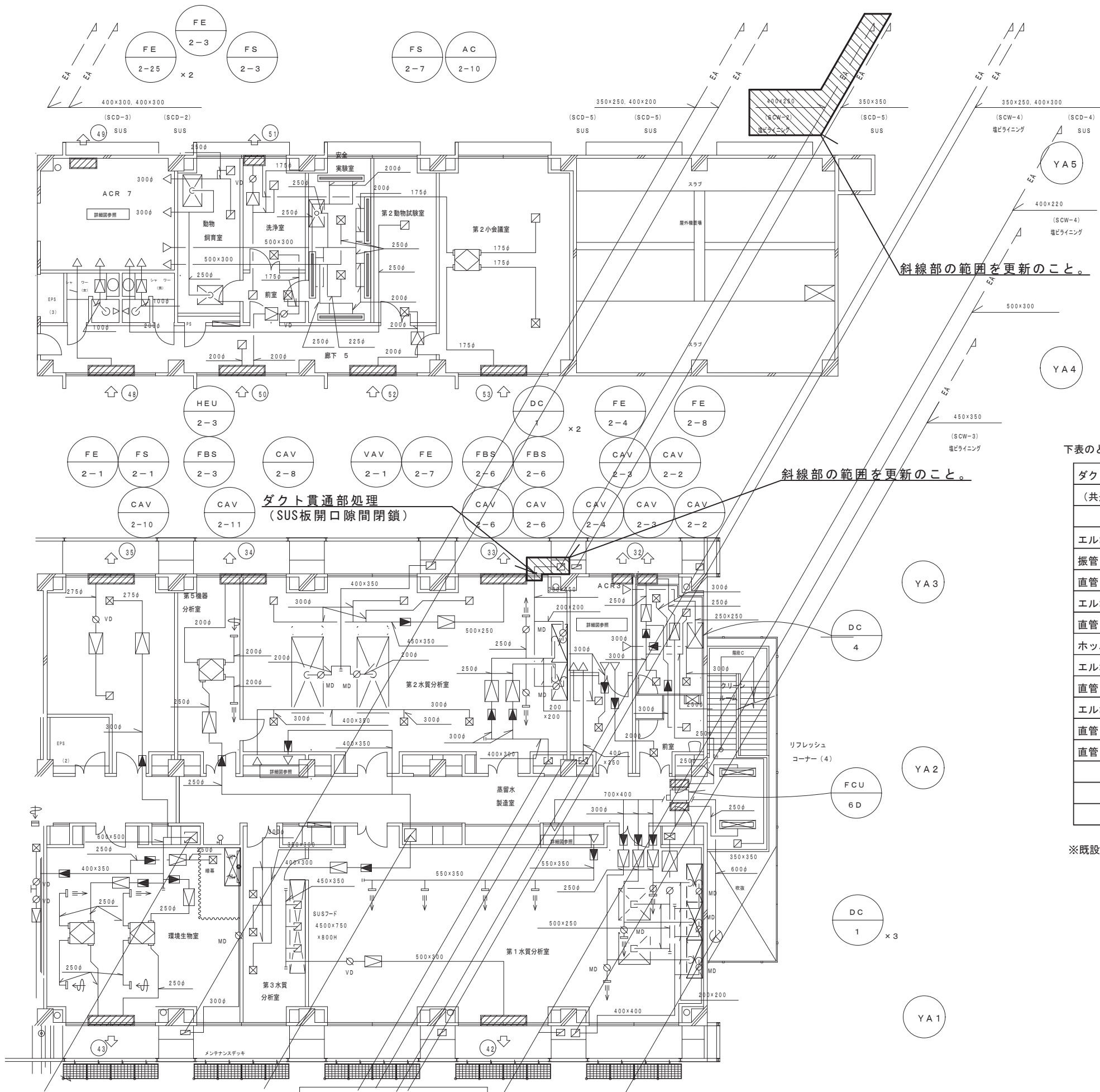
鳥取県中部総合事務所環境建築局
建築住宅課 営繕設備担当
連絡先 ○○-○○○○

地色 白
地色
マンセル記号
5YR6. 5/11
地色 白

工 事 名 称	衛生環境研究所第2水質分析室外部排気ダクト更新工事	S C A L E	D A T A	鳥取県中部総合事務所環境建築局建築住宅課		年 度	図面N0.
図 名	図面リスト・特記仕様書	—	R 8 . 3			R7	O



工事名称	衛生環境研究所第2水質分析室外部排気ダクト更新工事	SCALE	DATE			年度	番号
図 名	附近見取図、配置図	1 / 800 No Scale	R 8 . 3			R 7	1



斜線部の範囲を更新のこと。

斜線部の範囲を更新のこと。

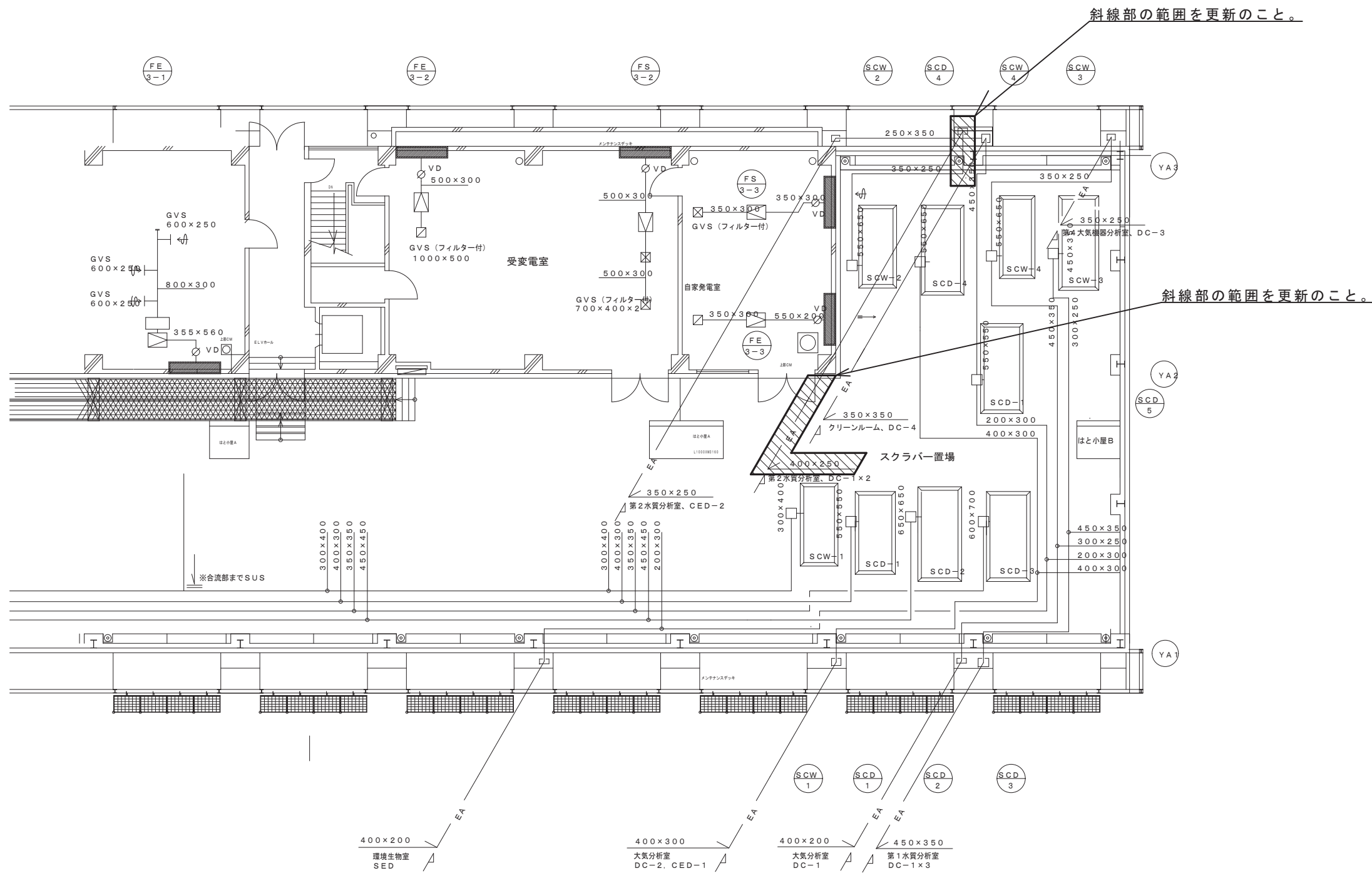
下表のとおりダクトの更新を行うこと。

ダクト更新部材表(2、3階共通)				
(共通事項) PVC製 3t、フランジ40×40×5t				
エルボ	400×250	(250×350R)	1	本
振管	400×250	420L (507レ・100UP)	1	本
直管	400×250	600L	1	本
エルボ	400×250	(150R)	1	本
直管	400×250	1100L	1	本
ホッパー	250×400-350×400	700L	1	本
エルボ	400×250	(200R)	1	本
直管 (ドレン付き)	400×350	280L	1	本
エルボ	350×400	(200R)	1	本
直管	400×250	250L	1	本
直管	400×250	1100L	1	本

※既設ダクトは撤去処分とし、材質はライニング 銅板製でダ 外寸法形状は上表と同じとする。



工事名称	衛生環境研究所第2水質分析室外部排気ダクト更新工事	SCALE	DATE			年度	番号
図 名	2階ダクト平面図	1 / 200	R 8 . 3			R 7	2



3階ダクト平面図 1/200



工事名称	衛生環境研究所第2水質分析室外部排気ダクト更新工事	SCALE	DATE			年度	番号
図名	3階ダクト平面図	1 / 200	R 8 . 3			R 7	3